武陽月報

武陽月報 Vol.263 November 2021
令和３年 11 月１日発行

武陽食品株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-4-1 新国際ビル
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004

『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社Ｊ-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

8 月生乳生産前年同月比 3.4%増　ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、令和 3 年 8 月の生乳生産量は、前年同月比 3.4%増の 62 万 8,214 トンとなったことを発表した。乳用牛の飼養頭数が増加していることに加え、特に 8 月中旬に気温の低い日が続いたことで乳量の低下が少なかったことから、2 年連続で前年同月を上回った。地域別には、北海道が 36 万 718 トン(前年同月比 2.8%増)、都府県が 26 万 7,496 トン(同 4.3%増)と、いずれも前年同月を上回った。

用途別生乳処理量は、牛乳等向けは、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により全国一斉休校で夏休みが短縮されたことへの反動から、今年は学校給食用向けが減少したため、全体としては 32 万 9,631 トン(前年同月比 4.5%減)と前年同月をやや下回った。一方、乳製品向けは、29 万 4,397 トン(同 13.9%増)と前年同月をかなり大きく上回った。チーズ向けと脱脂粉乳・バター等向けがそれぞれ同 8.8%増、同 22.2%増と前年同月を上回ったほか、クリーム向けが同 7.9%増と前年同月をかなりの程度上回った。

令和 3 年度生乳生産 2.3%増　Ｊミルク

一般社団法人Ｊミルクは、「2021 年度の生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと課題について」を公表し、令和 3 年度の生乳生産量は 760 万 6,000 トン(前年度比 2.3%増)と、3 年連続の増加を見込んでいることを発表した。地域別には、北海道では 428 万 5,000 トン(同 3.0%増)、都府県では 332 万 1,000 トン(同 1.4%増)としている。

用途別処理量については、脱脂粉乳・バター等向けが 184 万 1,000 トン(前年同月比 8.6%増)とかなりの程度増加することを見込んだ。バターについては、業務用需要の落ち込みから、年度末在庫量は 4 万 3,400 トン(同 11.7%増)と高水準になることが見込まれ、また脱脂粉乳の在庫についても、現在の高い水準が維持されるとして、年度末には 10 万 5,400 トン(同 29.8%増)となる見通しとなっている。

バター輸入数量見直し 3,100 トン増　農水省

農林水産省は、乳製品需給等情報交換会議を書面形式で開き、2021 年度の国家貿易によるバター、脱脂粉乳などの輸入枠数量を検証した結果、総輸入枠数量(生乳換算で 13 万 7,000 トン)は引き続き据え置く一方で、品目ごとの輸入数量は変更し、バターは今年 1 月の設定時に比べて 3,100 トン増の 9,500 トンと決めた。

品目ごとの輸入数量の変更は、これまでの輸入・売り渡し入札実績に基づいたもので、ホエイは 1 月時の 4,500 トンから 1,532 トン、バターオイルは 1,500 トンから 307 トンにそれぞれ減らし、脱脂粉乳は日米貿易協定に基づく 750 トンに据え置く。ホエイとバターオイルの減少分を年末需要に備えてバターの輸入数量増に振り分けた。

飼料のご用命は
武陽食品株式会社
飼料部宮城営業所　飼料部福島営業所
東北第一営業所山形出張所　　担当＿＿＿＿＿＿

豪州の生乳生産増加見込　ABARES

オーストラリア農業資源経済科学局（ABARES）は 21/22 年度(21 年 7 月～22 年 6 月)の生乳生産量は、前年比 1.1%増の 896 万 8,000 キロリットルに拡大するとの見通しを発表した。中国を中心に国際乳製品需要の高まりを受け、乳価の値上がりが予想されるためとしている。

ABARES によると、豪州の今年度の支払い乳価は 1 リットル当たり 7.1%高の 0.53 豪ドル(約 42 円 69 銭)に値上がりしている。好天により良質な牧草が確保されることが見込まれ、乳牛頭数は 0.7%増の 138 万頭、1 頭当たり乳量は 0.4%増の 6,499 リットルと前年を上回る予測した。中国で酪農家の飼料コスト増大に伴い、国産生乳への支払い乳価が記録的な高値となっているため、安価な輸入乳製品への引き合いが強まり、国際相場の値上がりを招く結果となったとしている。

8 月牛肉生産量前年同月比 0.5%減　ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、令和 3 年 8 月の牛肉生産量は、2 万 5,549 トン(前年同月比 0.5%減)と前年同月を下回ったことを発表した。品種別には、和牛は 1 万 1,684 トン(同 0.5%減)、交雑種は 6,330 トン(同 1.3%減)と前年同月を下回った。乳用種は 7,136 トン(同 0.5%増)と、前年同月を上回った。過去 5 カ年の 8 月の平均生産量との比較では、0.2%増と同水準となった。

8 月牛肉輸入量前年同月 13.9%増　ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、令和 3 年 8 月の牛肉輸入量は、5 万 3,761 トン(前年同月比 13.9%増)と前年同月をかなり大きく上回ったと発表した。冷蔵品は、前年同月の輸入量が北米の現地工場の稼働率の低下および豪州の干ばつ後の牛群再構築による生産量減少に伴う現地価格の高騰などにより少なかったことで、2 万 3,326 トン(同 20.6%増)と前年同月を大幅に上回った。冷凍品は、豪州産の輸入量が現地価格の高騰などにより前年同月と同様に少なかったものの、他国産の冷凍品が増加したことから、3 万 417 トン(同 9.3%増)と前年同月をかなりの程度上回った。過去 5 カ年の 8 月の平均輸入量との比較では、冷蔵品は 0.1%減と同水準となった一方、冷凍品は 19.7%増と大幅に上回る結果となった。

J-オイルミルズ

ファイバーフィード

乳用牛・肉用牛飼育用配合飼料

ファイバーフィードは、大豆皮を主原料とし、ペレット化した混合飼料です。大豆皮はＮＤＦ含量が高いにもかかわらず、リグニン含量が低いため消化性が高く、高エネルギーです。高繊維、高エネルギーの原料である大豆皮をふんだんに使用した、ファイバーフィードはＪーオイルミルズにしかない、独自の飼料です。

夏場の飼料給与には、粗飼料の不足を補い、第一胃内の発酵の安定させる、ファイバーフィードをお勧めします。

成分	原物中	乾物中
粗たん白質	14.0%前後	16.0%前後
粗脂肪	3.0%前後	3.4%前後
粗繊維	23.0%前後	26.4%前後
粗灰分	7.0%前後	8.0%前後
カルシウム	0.40%前後	0.40%前後
りん	0.15%前後	0.17%前後
ＴＤＮ	65.0%前後	74.7%前後